

# 高等学校 芸術科（音楽）

## 1 改訂の趣旨及び要点

### 改訂の基本的な考え方

- ・感性を働かせて、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見出したりすることができるよう、内容の改善を図る。
- ・音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を図る。
- ・新設した〔共通事項〕は、「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫する。

### 目標の改善

芸術科（音楽Ⅰ）で育成をめざす資質・能力を三つの柱で整理しています。

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、**生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力**の育成を目指す。

#### 知識・技能の習得

曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

#### 思考力・判断力・表現力等の育成

自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

#### 学びに向かう力・人間性等の涵養

主体的・協働的に音楽活動の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

### 学習内容の改善・充実

#### ・指導事項を分けて示し、指導すべき内容を一層明確化

「A 表現」( (1)歌唱 (2)器楽 (3)創作)、「B 鑑賞」( (1)鑑賞)、「共通事項」について、指導事項を「ア 思考力・判断力・表現力等」「イ 知識」「ウ 技能(※)」の観点から整理しました。※「ウ 技能」に関しては「A 表現」にのみ設定。

#### ・「B 鑑賞」の指導内容の充実

「自分や社会にとっての音楽の意味や価値」「音楽表現の共通性や固有性」などについて考えることを事項として示し、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての関心や理解を深めていくことが一層求められています。

#### ・〔共通事項〕の新設

「A 表現」及び「B 鑑賞」の学習において共通に必要な資質・能力を育成するために、〔共通事項〕を新設し、「ア 思考力・判断力・表現力等」及び「イ 知識」に関する事項として示しました。

#### ・言語活動の充実

「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導に当たっては、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや価値等を考えたりしていく学習の充実を図る観点から、「音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫する」とし、言語活動の充実を図りました。

#### ・音楽Ⅲの内容の充実

音楽Ⅲでは、「A 表現」「B 鑑賞」の両領域の内容を必ず扱うこととし、これによって全ての科目（音楽Ⅰ、音楽Ⅱ、音楽Ⅲ）で「知識」「技能」「思考力・判断力・表現力等」の資質・能力をバランスよく育成できるようにしました。

### 内容の取扱い等

#### ・音楽Ⅰ 「A 表現」「(3)創作」に関する取扱い

音楽Ⅰ「A 表現」「(3)創作」のウ 技能については、(ア)、(イ)又は(ウ)のうち一つ以上を選択して扱うことができると示されています。

#### ・音楽Ⅱ 「A 表現」の取扱い

音楽Ⅱ「A 表現」については(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができると示されています。なお、「B 鑑賞」については、必ず扱うこととしています。

### ・音楽Ⅲ 領域の取扱い

音楽Ⅲ「A 表現」については(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができること、「B 鑑賞」の(1)のAについては、(ア)を扱うとともに、(イ)又は(ウ)のうち一つ以上を、イについては(ア)、(イ)、(ウ)又は(エ)のうち一つ以上を選択して扱うことができると示されています。また、いずれを選択した場合においても我が国や郷土の伝統音楽を含めることと示されています。

## 2 高等学校芸術科（音楽）における授業づくりのポイント

### ポイント①：主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

#### 【主体的な学びの視点】

- ① 音楽によって喚起されるイメージや感情を自覚させることが重要。
- ② 音や音楽が自分の感情及び人間の感情にどのような影響を及ぼしたのかを考えることが、学んでいること、学んだことの意味や価値を自覚するとともに、音や音楽を生活や社会に生かそうとする態度を育成すること。

#### 【対話的な学びの視点】

- ① 一人一人が「音楽的な見方・考え方」を働かせて、音楽表現をしたり音楽を聴いたりする過程において、互いに気付いたことや感じたことなどについて言葉や音楽で伝え合い、音楽的な特徴について共有したり、感じ取ったことに共感したりする活動が重要。

#### 【深い学びの視点】

- ① 中学校音楽科における学習を基礎として、生徒が音や音楽と出会う場面を大切に、一人一人が「音楽的な見方・考え方」を働かせて、音楽と主体的に関わることができるようにすることが重要。
- ② 知覚・感受したことを言葉や体の動きなどで表したり比較したり関連付けたりしながら、要素の働きや音楽の特徴について他者と共有・共感したりする活動を適切に位置付ける。

### ポイント②：音楽的な見方・考え方を働かせる

#### 音楽的な見方・考え方

感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、音楽の文化的・歴史的背景などと関連付けること

「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習をすることによって、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱の涵養が実現すると考えられます。この学習を積み重ねることにより、見方・考え方が広がったり深まったりするなどし、その後の人生においても生きて働くものとなります。今回の改訂では、「音楽的な見方・考え方」を働かせることにより、芸術科（音楽）における深い学びの視点から「授業改善の一層の工夫」を期待しています。

### ポイント③：芸術科（音楽）の特質に応じた言語活動の充実を図る

言語活動・・・音楽活動を通して、知覚、感受したことや自分の考えなどを言葉で表す。

この往還が重要

音楽活動・・・言葉で表したことを、音楽活動によって確認する。

#### 【芸術科（音楽） 言語活動で陥りやすい流れ】

##### 教員の発問：

「音楽を聴いて気づいたことや、感じたことをワークシートに書きましょう。そして、書いたことをグループごとに交流した後、まとめて発表してください。」

⇒言語活動を促すためには有効な活動だが、この言葉がけのみの場合、生徒の思考が音楽から離れていってしまう可能性がある。

##### 生徒の思考の流れ：

「どのようにすれば、みんなの言葉をまとめたものを発表できるだろうか。」

⇒意見をまとめることに注意が向いてしまっているため、芸術科（音楽）の特質に応じた言語活動とは言い難いものになっている可能性がある。

★言葉としてまとめる活動ではなく、書き出した様々な言葉と実際に聴いた音楽と結び付け、音楽的な視点（音楽を形づくっている要素・音楽に関する用語や記号等）で整理しながら活動を進めていく。

#### Good Practice!

##### 教員の発問：

「音楽を聴いて気づいたことや、感じたことをワークシートに書きましょう。そして、書いたことをグループで交流するときに、音楽のどの部分（特徴）に気づき、なぜそのように感じたかについて発表し合ひましょう。」

音楽を形づくっている要素を焦点化することで深い学びへ

### 3 高等学校芸術科（音楽） 実践事例

#### 題材の流れ

時間	主な学習内容・学習活動	学習過程
これまで (1～3時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○混声～部（同声～部）合唱について理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で上声部・下声部を歌詞で歌い、旋律を把握する。</li> <li>・パートごとに練習を行い自身の担当する声部の動きを把握する。</li> <li>・両声部が調和している状況を理解する。</li> </ul> </li> <li>○楽曲の内容を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の音読を行い、内容を理解する。</li> <li>・楽曲の成り立ち（作曲者・作詞者・楽曲のもつ歴史的背景 など）について理解する。</li> </ul> </li> <li>○楽曲の構造を理解し、表現方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の動きや強弱、リズムの特徴を生かした歌い方を考える。</li> </ul> </li> </ul>	
本時 (4時間) ※ 題材の まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽曲の表現方法を考え共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習してきた楽曲の要素を思い出し、どのように表現したいかを考え、グループで共有する。</li> </ul> </li> <li>○発表をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに発表を行う。</li> <li>・お互いの発表を聴き合い、それぞれのグループの思いや意図を理解し合う。</li> <li>・交流した意見を「音楽を形づくっている要素」等と関わらせながらまとめ、全員で合唱する</li> </ul> </li> </ul>	

#### 深い学びを実現するためのポイント

##### 生徒の思考を深め・結び・つなぐ題材構成

音楽に関する見方・考え方は音楽学習における基本であり、音そのもの、音楽そのものが大切であることを示しています。実践事例では、「歌詞の意味やハーモニーの変化を感じ取って、音楽表現を工夫しよう。」に向かって、題材の終わりに生徒が「何ができる」ようになるのかを明確にした上で、共通事項を要として「A 表現」の学習内容を有効に作用させた授業を構想しています。合唱に関して習得した知識と技能を表現活動に活かし、個人とグループでの表現活動を通じて思考を深めた学習をすることができます。また、学習の成果を発表することも大切です。「表現は聴いてもらうため」という事を実感することにもなり、発表者の表現を共有する大切な機会です。

##### 学習過程の中で知識・技能を生かしながら多角的に考える

知識・技能の習得だけが最終的な目標ではありません。生徒が習得した知識・技能を実際の生活や社会の中で活かす意識や態度を養うような学習ができるような学習過程を常にイメージして、授業の中で考える場面を効果的に設定していくことが重要です。

実践事例は、本時が学習の最終段階となり、この題材を学ぶことで重ねてきた知識・技能を「活用」し「発表」する場面です。歌詞に込められた思いやそれを表現するための音の調和（ハーモニーの変化）を生かす学習を通して、生徒は課題に向けて個人とグループでの活動の過程を踏まえることにより、より良い表現を求めて課題に取り組むことができます。

##### 生徒の思考や探究を深める「問い」や支援

音楽科教員は音楽科指導に必要な知識・技能を身に付け、教員としての能力を備えています。その知識や技能は音楽科教員が思う以上に高度で専門的です。生徒を指導するときには、専門的な知識や技能を生徒に分かりやすく伝えるという事に意識を置く必要があります。生徒の思考や探究を深める「問い」を考える際には音楽科としては「当然」と思っている事にこそ注意が必要です。

生徒がものごとを多面的・多角的に考える場面で思考を深めていく際、教員の「問い」が大きな役割を果たします。本時では、題材としての目標に向け、学習過程の各ポイントで、生徒の思考を揺さぶる「問い」を投げ、支援することで、生徒は課題を認識し、解決の選択肢をより広い視野で検討したりするようになります。学習過程の要所で、生徒の思考を揺さぶる「問い」を投げかけることで、生徒は問題の所在等に気付いたり、解決の選択肢をより広い視野で検討したりするようになります。

また、個人で考える場面とグループで考えを出し合い共有する場面を螺旋系でつなげることで、生徒がクラスメイトとの対話を通して自分の考えを明確にしたり、意見共有でお互いの考えを広げ深めたりすることにつながっています。

## 本時の指導計画

- ◆科目・学年 音楽 I・1年
- ◆題材名 曲想を感じ取り、歌詞やハーモニーを生かした歌唱表現をしよう。
- ◆学習指導要領(平成30年告示)との関連 A表現(1)歌唱 ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ) 共通事項 ア、イ
- ◆題材の目標
  - ・混声～部(同声～部)に興味・関心を持ち、主体的に合唱活動に取り組んでいる。
  - ・ハーモニーの変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい、音楽表現を創意工夫する。
  - ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な発声、発音、呼吸法などの技能を身に付ける。
  - ・パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取る。
- ◆本時の目標
 

楽曲の情景や心情を表現するため、歌詞の意味やハーモニーの変化を生かし、創意工夫して歌唱表現をする。[創]
- ◆主な学習の流れ(第4時間目/全4時間)

学習活動	指導上の留意事項
<b>1. 本時の学習内容を確認する。</b>	
<b>歌詞の意味やハーモニーの変化を感じ取って、音楽表現を工夫しよう。</b>	
<b>2. 楽曲の表現方法を考え、グループごとに発表する。</b> <p>・これまで学習してきた楽曲の要素の中で、特にどの点を工夫したいのか、思いや意図をワークシートに記入する。<b>個人</b></p> <p>・発表グループに分かれて意見を交換しよう。<b>グループ</b></p> <p>・グループで共有したことを黒板に張り出し、表現の工夫について述べた後、歌唱発表をする。<b>発表</b></p> <p>・グループの表現を聴いて、ワークシートに感想を記入する。<b>個人</b></p> <p>・発表グループに分かれて発表に関する意見を交換しよう。<b>グループ</b></p> <p>・いくつかのグループの意見を発表し、全体で共有化する。<b>発表</b></p> <b>3. 全体で混声～部(同声～部)合唱を行う。</b> <p>・全体で共有した内容を確認しながら、全員で混声～部合唱(同声～部合唱)する。<b>発表</b></p> <p>・振り返りシートを記入し提出する。<b>個人</b></p>	<p>・これまで学習してきた楽曲の要素とそれを表現するために工夫したことについて思い返しながら、めざす表現とそれを表すための具体的な方法について考えるように伝える。</p> <p>・机間指導をしながら、グループで話し合われている内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・歌詞に込められた思いとハーモニーの変化を聴いて、気づいたことや、感じたことをワークシートに書きましょう。</p> <p>・音楽のどの部分(特徴)に気付き、なぜそのように感じたかについて発表しましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>この歌詞は、お願い事しているよね。それって、気持ちを強く伝えたいのよね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>その部分のハーモニーは、なんか暗い響きに変わったよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>なんか助けてほしいという表現だと思う。切ないよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>歌詞の思いを強く伝えるために、マイナーの響きをしっかり響かせたいなあ。</p> </div> </div> <p>・良い意見があれば、チェックしておき、全体共有化の時に発表し、学び合いを高めていくようにする。</p> <p>・発表した内容を、わかりやすく板書する。</p> <p>・共有した内容を「音楽を形づくっている要素」や「音楽に関する用語や記号」と関わらせて整理し、全員合唱につなげる。</p>